

**第5回 PDA 中学生即興型英語ディベート全国大会 募集要項**  
**The 5th PDA Junior High School Parliamentary Debate National Competition**

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

1. 趣旨

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会(PDA)では、グローバルに活躍する人財育成の一手法として、英語での発信力、論理的思考力、幅広い知識・考え方、プレゼンテーション力、コミュニケーション力などの複数の力を効果的に訓練可能な即興型英語ディベートを推進しています。本大会では、即興型英語ディベートの普段の練習の成果を試し、全国の中学生と議論を交わすことで、さらなる成長・学習意欲を促すことを目的とします。授業での取り組み成果を発揮できるよう、形式は授業導入可能なフォーマットです。 参照：文部科学省助成事業 <http://englishdebate.org/debate/>

2. 日程

2022年3月21日(月・祝)

3. 会場

オンライン開催 (Zoom)

4. 主催：一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

後援 (申請予定)：大阪府立大学、朝日新聞社、朝日中高生新聞、

一般社団法人 日本英語交流連盟

助成：公益財団法人日本財団、公益財団法人 KDDI 財団

5. 参加対象

日本在住の中学生。1校3名または4名でお申し込みください。

※2022年3月に中学を卒業する生徒を含みます。

以下の条件に該当する生徒は、チームに2名までの申込みとなります。

- (1) 英語を第1言語、第2言語とする国で2年以上滞在経験のある生徒 (就学前の滞在は不問)
- (2) インターナショナルスクールまたはそれに相当する学校に2年以上通学経験のある生徒
- (3) 家庭または学校で常用的に英語を使っている生徒



10. 申込み方法（準備中）

募集要項をご確認のうえ、以下のウェブサイトよりお申込みください。

<http://www.pdpda.org>

申込期間：公開日～2月25日（金）

（定員数に達し次第、締め切ります。※先着順）

11. ジャッジ参加

本大会のジャッジは、即興型英語ディベートの経験および教育的配慮がある社会人、大学生・院生、教員を対象とします。各校1名の教員ジャッジを帯同していただくことを原則とします。しかしながら、即興型英語ディベートの進行およびジャッジに不慣れな教員もいらっしゃる想定されます。よって、本大会では、合宿や教員研修会に参加された教員のみを大会ジャッジの対象とさせていただきます。即興型英語ディベートの経験がない教員の皆様につきましては、トレイニージャッジ（ジャッジの横で見学）としてご参加のほどよろしくお願いいたします。

お問い合わせ

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

[entry@pdpda.org](mailto:entry@pdpda.org)

#### 申込書の入力項目

- 申込者名前（入力）
- 申込者住所（入力）
- 申込者電話番号（入力）
- 申込者メールアドレス（入力）（+確認用）

- 生徒名 1（漢字姓名入力）  
（ローマ字姓名入力）  
（海外生活歴）

- 生徒名 2（漢字姓名入力）  
（ローマ字姓名入力）  
（海外生活歴）

- 生徒名 3（漢字姓名入力）  
（ローマ字姓名入力）  
（海外生活歴）

- 生徒名 4（漢字姓名入力）  
（ローマ字姓名入力）  
（海外生活歴）

- 教員ジャッジ（ジャッジの種別）  
（漢字姓名入力）  
（ローマ字姓名入力）

（上記（海外生活歴）については、以下からの選択）

- ・海外生活歴なし（以下に該当しない）
- ・英語を第 1 言語、第 2 言語とする国で 2 年以上滞在経験のある生徒（就学前の滞在は不問）
- ・インターナショナルスクールまたはそれに相当する学校に 2 年以上通学経験のある生徒
- ・家庭または学校で常用的に英語を使っている生徒

#### 個人情報の利用目的および取扱い・研究協力のお願について

##### <個人情報の利用目的および取扱い>

本申込にご記入いただく内容は、イベントのプログラム、報告書等の各種印刷物、ホームページへの記載および連絡のために使用させていただきます。

また、イベント中の写真や動画、結果がインターネット、新聞、雑誌等の媒体で紹介、販売されることがあります。

上記利用目的以外に、取得した個人情報を使用することはありません。

- 個人情報について  
上記の個人情報の利用目的および取扱いについて  
参加者全員が同意する（ボタンチェック）

<研究協力のお願ひ>

本イベントで撮影、録音されたデータは、個人が特定されない形で処理し、以下の研究に使用されることがあります。

研究の目的：

対話的議論の自動評価モデルを構築することを目的とします。

会議などの意思決定を有する議論の場において、発言内容を評価し、フィードバックすることは、発言者の議論能力の向上につながりますが、発言内容を一つ一つ評価することは評定者に負担がかかるため、近年対話的議論の自動評価が期待されています。

そこで、本研究では「対話的議論の自動評価研究」に向けたデータを収集します。

研究内容：

収集したデータから計算機による自動評価モデルを構築します。また、発言内容と評価の相関関係を調査します。

個人情報・データ管理：

収集したデータは、研究機関の管理のもと研究用途で公開することがあります。

研究の成果は、個人が特定されない形（例えば、元データに名前などの個人情報が入っていればその部分は公表しないようにする）で学会や論文掲載誌等で発表されることがあります。

研究責任者 中川 智皓

大阪府立大学 工学研究科 准教授

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 代表理事

- 研究協力のお願ひについて  
上記研究協力のお願ひについて  
参加者全員が同意する（ボタンチェック）